１人１台端末の活用による実践事例

（特別支援学校）

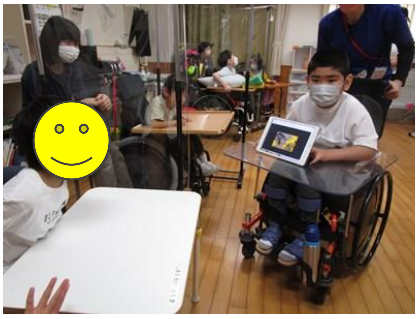
学校名	岡山県立岡山東支援学校	実践者名	藤原瑞歩　小倉とく
実践場面 （教科、領域、行事等）	ふれる・えがく・つくる		
単元・題材名	春のカレンダーを作ろう（全４時間中１時間目）		
学習目標・ねらい	「春」のイメージを思い浮かべ、描きたいモチーフをインターネットで検索して決める。		
対象の児童 生徒の実態	にこにこグループの児童（7名）幼児期中期～小学校低学年 自閉症スペクトラム、ディスレクシア、四肢麻痺 全員簡単な話を理解したり、やり取りしたりすることができる。 タブレットを使って文字入力ができる児童もいる。		

活用の概要（使用アプリ名を含む）　※写真も掲載する

（１）「手で遊ぼう」の歌に合わせて手指を動かしたり様々な触感の具体物に触れたりした後に、本題材「春のカレンダー作り」の説明を行い、「春」の季節のイメージがもてるよう、あらかじめ用意しておいた動画を大型テレビに映して全員で視聴した。
・使用した機器…iPad、AppleTV、大型テレビ
・使用したアプリや機能…iPad の画面収録機能を使用して、YouTube の映像をキャプチャし、必要な部分のみをカットして写真アプリに入れておいた。

（２）映像を見た後に、描きたい対象を決め、iPad の Safari で画像を検索した。文字入力ができる児童は自分で行い、そうでない児童は教師とやり取りしながら、１人１台端末の iPad で画像を検索して写真アプリに保存した。
・使用した機器…iPad
・使用したアプリ…Safari、Google Chrome、写真

（３）自分が選んだ画像を友達に提示し、説明した。



活用のポイント・改善策等

・　児童が選んだ画像を、AppleTV を使用して大型テレビに順に映し出してもよい。
・　児童が選んだ画像を教師のタブレットに Air drop でコピーしてテレビにランダムに表示し、自分が選んだ画像が表示されたときに挙手して発表することで、児童がどの画像にも興味をもって意欲的に見ることができるかもしれない。